

川4 浄水場における臭気の自動監視

求める技術：①⑦

1 課題を抱える業務の内容

本市は相模湖を水源としており、近年は夏季の藍藻類によるかび臭以外にも、珪藻類等による臭気異常のリスクが高まる事象が増えており、対応に苦慮しています。浄水場では臭気異常が起きないように、職員が分析装置による臭気物質の測定、生物試験、臭気官能試験等を行っています。



臭気異常の原因生物（珪藻類）

2 課題の詳細

土日祝日など浄水場職員の不在時に、原水中の生物が短時間で急激に増加すると、臭気への対応が遅れてしまう場合があります。また、臭気官能試験については、嗅覚は個人差が大きく、体調の変化にも左右されやすいため、僅かな臭気を検知できない場合があります。

3 こんな技術を求めています！

原水及び浄水の臭気をセンサーで常時監視し、AIが様々な臭気異常の判別をサポートする技術

4 技術の導入により代替が期待される業務

浄水場における臭気監視業務

5 事業規模・業務量

浄水場職員が日常及び臨時で実施